

第32期 (2012年6月期)

第2四半期連結業績説明資料

2012年 2月

株式会社

ドンキホーテ

Don Quijote Co.,Ltd.

専務取締役 CFO 兼 CCO 高橋 光夫

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-19-10

T E L 03-5725-7588 FAX 03-5725-7024

<http://www.donki.com>

e-mail : takahashi@donki.co.jp



2012年6月期 2Q 決算概況

- ✓決算業績概況
- ✓事業別業績概況
- ✓主な資産、負債、純資産の状況
- ✓セグメント情報
- ✓キャッシュフロー&設備投資の状況
- ✓株式の状況

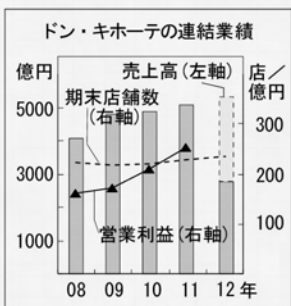
ドン・キホーテグループトピックス

- ✓出店状況
- ✓月次販売の状況
- ✓長崎屋復活計画
- ✓情熱価格
- ✓フィデックの状況

2012年6月期 通期業績予想

本資料における記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

ドン・キホーテ、営業利益21%増



大震災の発生以降に激変した消費行動の下で、生活必需品については、タイムリーな商品構成と価格設定で、お客さま支持は安定感が増した。さらに独自の商品編集力を発揮して展開した好採算商品やプライベートブランド商品の販売が伸びて、売上高は8・4%増の2769億円となった。

巧みな商品編集力

ドン・キホーテが6日に発表した2011年7月～12月期連結決算は、営業利益が前年同期比21%増の172億円、経常利益が17%増の165億円、純利益が58%増の119億円といずれも大幅増益となり、コンセンサス予想をも圧倒する好決算となった。東日本大震災以降の消費動向の変化を見誤らずに適切な販売体制を貫いた同社の姿勢は、既存顧客はもとより新規客の支持を集めて、成長力に加えて収益力の拡大を伴うバランスの良さが光った。

広がる顧客層

主力のドン・キホーテは、堅実な成長を遂げている。お客さまニーズに迅速な行動で対応する機動力は同社が得意とするところだが、当期間も遺憾なく発揮された。季節対応や消費者心理の変化をとらえた商品ポートフォリオの提案と価格施策により、既存店は1・5%増収の実績を残した。長崎屋が展開するファミリー向けのMEGA店は、GMS業態からの転換が一段落して、商圏内における競争力が高まっております。既存店は13・2%増収と高い成長をとげた。

高い利益成長を支える時流対応力

7～12月期

A○B新聞号外

2月6日
月曜日

1Q89
established

セグメント別では、リテール事業の売上高は2666億円、セグメント利益は129億円となった。同利益率は0・3ポイント改善し、多品種を取り扱う総合型小売業として、収益力の拡大は安心感を誘う。

テナント賃貸事業の売上高は79億円、セグメント利益は34億円となった。

グループ全体の店舗数は、前期比9店舗増の235店舗だった。

通期予想を上方修正

通期業績の見通しは第2四半期累計期間までの進捗状況を踏まえて、売上高については前期比4・6%増の5310億円(従来予想は5289億円)をコミットし、営業利益は12・5%増の285億円(同270億円)、経常利益は9・4%増の275億円(同268億円)、純利益は29・6%増の164億円(同140億円)とそれぞれ上方修正して22通期連続の増収増益と史上最高益の更新を狙う。

ドン・キホーテは必ず期待に届えてくれる頼もしい存在だ。

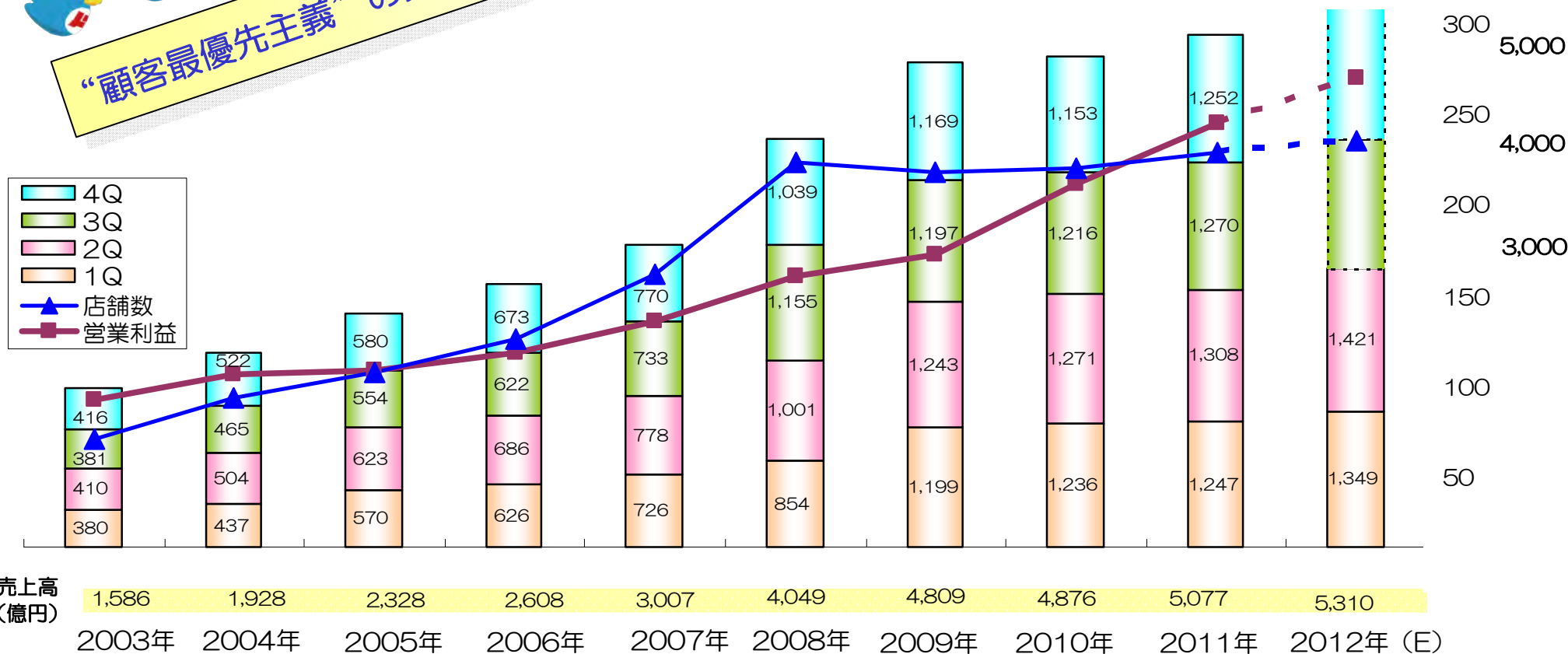
【MT記】

年間業績推移

“顧客最優先主義”の実践で、22通期連続増収増益へ!

(営業利益・売上高単位：億円)

店舗数
営業利益 売上高



エグゼクティブ・サマリー

1. 2Q累計連結業績概況

安定感が増した収益状況で、予想を上回る大幅な増収増益を達成！

- ▶大震災の影響が残り、消費マインドが大きく変化した環境下で、地上デジタル放送開始や節電・省エネ対策などが消費行動を刺激して当期がスタート。
定番商品はもとより、旬を訴求する商品や提案型新商品も順調に販売数を積み上げて、お客さま支持にこたえる。
- ▶主力のドン・キホーテ既存店は、柔軟性と機動性を発揮した営業力でグループ業績を牽引。
さらに商圏内ポジションの確立が目覚ましいMEGA店の収益力が大幅に改善し、売上伸長以上に高い利益水準をもたらす。
- ▶コモディティ系商品のタイムリーな品揃えと価格提案は、固定客の信頼と支持率を継続して高めることに有効。
その一方で、ミドルゾーン価格帯の商品や嗜好性の高い商品に対するお客さまの購買意識の変化を適切に反映したことから、粗利益率は1Q後半から改善傾向を見せる。
- ▶販売増に伴う変動費の増加やLED関連費用など予算外支出の発生があったが、きめ細やかな「コストマネジメント」を駆使して、売上総利益伸長率以下の増加にとどめる。
- ▶これらのことから、2Q累計連結業績は、売上高は2,769億円（前期比8.4%増）、営業利益172億円（同21.3%増）、経常利益165億円（同17.2%増）及び純利益119億円（同58.1%増）と大幅増収増益を達成！
なお、株主資本利益率（ROE）は、年率換算で18.5%の水準。

2. 業績見通し

通期業績予想（利益）を上方修正！

- ▶2Q累計連結業績の進捗状況を踏まえて通期の業績見通しを修正。
前期における大震災以降の消費動向に対する反動懸念があるものの、売上高は前期比4.6%増の5,310億円（前期実績5,077億円）をコミット。
営業利益は12.5%増の285億円（同253億円）、経常利益は9.4%増の275億円（同251億円）、当期純利益は29.6%増の164.1億円（同127億円）と、22通期連続増収増益を達成し、過去最高益更新を狙う。



2Q累計業績サマリー

(単位：百万円)

連結実績	当2Q実績				公表予想 ※1		前2Q実績	
	金額	百分比	予想比	前期比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	276,939	100.0%	101.8%	108.4%	272,000	100.0%	255,481	100.0%
売上総利益	71,810	25.9%	102.1%	109.0%	70,300	25.8%	65,874	25.8%
販管費	54,592	19.7%	99.1%	105.6%	55,100	20.3%	51,681	20.2%
営業利益	17,218	6.2%	113.3%	121.3%	15,200	5.6%	14,193	5.6%
経常利益	16,451	5.9%	110.4%	117.2%	14,900	5.5%	14,031	5.5%
当期純利益	11,936	4.3%	119.4%	158.1%	10,000	3.7%	7,549	3.0%
1株利益	154.90円		119.3%	151.8%	129.81円		102.03円	

個別実績	当2Q実績				(参考予想) ※2		前2Q実績	
	金額	百分比	予想比	前期比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	189,951	100.0%	101.6%	106.8%	187,000	100.0%	177,938	100.0%
売上総利益	48,007	25.3%	102.1%	107.2%	47,000	25.1%	44,776	25.2%
販管費	35,332	18.6%	100.4%	105.9%	35,200	18.8%	33,369	18.8%
営業利益	12,675	6.7%	107.4%	111.1%	11,800	6.3%	11,407	6.4%
経常利益	11,831	6.2%	102.9%	103.9%	11,500	6.1%	11,386	6.4%

※1. 業績予想は、2011年11月4日に上方修正したものでありますが、当初予想は同年8月18日に売上高2,700億円、営業利益147億円、経常利益146億円、純利益78億円と公表しておりました。

※2. 当社は、個別業績予想を公式開示しておりませんが、連結業績予想の前提となる予想（上方修正後）を参考予想として記載しております。

2Q累計連結業績概況コメント

▶連結売上高：2,769億円（前期比8.4%増）

大震災以降の消費マインドの変化をとらえて、まずは生活必需品の品揃え強化と価格訴求から入る一方で、ライフスタイル型商品の充実を企図するなど、商品編集力を活かした「変化対応型オペレーション」を促進。女性客や中高年齢層などの新しい顧客層に向けた商品提案も支持率向上に繋がり、さらに地方店の好調さも加わった結果、DQ既存店は1.5%増、MEGA既存店は13.2%増と高成長。

▶当2Q末店舗数：235店（前期末228店）

新規出店8店（うち、DQ5店、MEGA2店、エッセンス1店）、長崎屋の業態転換は1店、閉鎖1店。

▶連結売上総利益：718億円（前期比9.0%増）、利益率：25.9%（同0.1pt改善）

時流や市場特性を冷静に見極めながら、日用雑貨品などのコモディティ商品は価格訴求を行う一方で、プライベートブランド商品などを中心とした採算性の良い商品の販売ミックスを強化した結果、同利益率は0.1pt改善。

▶連結販管費：546億円（同5.6%増）、販管費率：19.7%（同0.5pt改善）

増加額の多くは、販売好調及び地方新規店に係るパートタイマーなどの人件費、並びに節電目的のためのLED照明関連費用を予算外支出として計上するが、「コストコントロール」を促進し、売上総利益伸長率を下回る増加率にとどめ、販管費率も20%を下回る。

▶営業外収支戻：7.7億円のマイナス

受取利息2.9億円、負ののれん償却4.3億円/支払利息8.8億円、貸倒引当金繰入額5.4億円など。

▶特別損益戻：15.8億円のプラス

収用補償金3.2億円、更生債権弁済益17.8億円/店舗閉鎖損失2.3億円など。

▶これらのことから、営業利益172億円（同21.3%増）、経常利益165億円（同17.2%増）、当期純利益119億円（58.1%増）といずれも大幅増益を達成し、2Q累計（中間期）最高益を更新。
なお、純利益は前通期実績127億円の94%相当を達成。

2Q累計連結業績概況

(単位：百万円)

	当2Q (累計)		前2Q (累計)		前期比
	金額	百分比	金額	百分比	
売上高	276,939	100.0%	255,481	100.0%	108.4%
売上総利益	71,810	25.9%	65,874	25.8%	109.0%
販管費	54,592	19.7%	51,681	20.2%	105.6%
給与手当	18,375	6.6%	17,225	6.8%	106.7%
地代家賃	8,987	3.2%	9,031	3.5%	99.5%
支払手数料	6,202	2.2%	6,137	2.4%	101.1%
減価償却費	4,477	1.6%	4,390	1.7%	102.0%
その他	16,551	6.0%	14,898	5.8%	111.1%
営業利益	17,218	6.2%	14,193	5.6%	121.3%
経常利益	16,451	5.9%	14,031	5.5%	117.2%
当期純利益	11,936	4.3%	7,548	3.0%	158.1%
1株当たり純利益	154.90円		102.03円		151.8%

2Q累計事業別業績概況コメント

▶リテール事業2,666億円（前期比8.5%増）

*「家電製品」295億円（同3.9%増）

前年のエコポイント特需の反動に左右されたものの、節電対応家電などを中心とした季節家電やスマートフォン関連商品などがカバー。

*「日用雑貨品」608億円（同11.4%増）

お客様の生活軸に合致した商品提案が安定感を保ちながら需要を牽引。
価格訴求品は競争力を伴ってリピーター増加に應える。

*「食品」768億円（同10.4%増）

ボリュームゾーン商品を活かした上で、新規顧客を中心にワンランク上質品への転換策が徐々に奏功し、客数増はもとより粗利益率改善に貢献。

*「時計・ファッション用品」615億円（同9.6%増）

時計、宝飾品、輸入ブランド品などの嗜好系商品が堅調な進捗状況を示す。
苦戦が続いていた衣料品は、ベーシック商品を中心に復調傾向。

*「スポーツ・レジャー用品」167億円（同3.5%増）

大震災や原発問題の後遺症が残る中の自粛ムードなどで伸び悩む。

*「DIY用品」91億円（同10.5%増）

補修素材などを中心とした震災関連商品や節電・省エネ需要関連商品が好調に推移。

*「海外（ハワイ）」62億円（同19.3%減）←店舗数減少（4店から3店）と円高に伴う換算差額の影響大

日本プロダクト商品の人気上昇し、食品部門では生鮮、グロッサリーとも好調さを維持。
なお、既存3店はUSドルベースで4.8%増。（ご参考：当2Q 1USD=79.3円、前1Q=88.3円）

▶テナント賃貸事業79億円（同0.7%減）

既存テナント事業は堅調な推移も一部のテナント事業者の撤退や縮小も発生。

2Q累計事業別業績概況

(単位：百万円)

	当2Q (累計)		前2Q (累計)		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
リテール事業	266,559	96.3%	245,586	96.1%	108.5%
家電製品	29,524	10.7%	28,415	11.1%	103.9%
日用雑貨品	60,844	22.0%	54,594	21.4%	111.4%
食品	76,793	27.7%	69,545	27.2%	110.4%
時計・ファッション用品	61,506	22.2%	56,143	22.0%	109.6%
スポーツ・レジャー用品	16,721	6.0%	16,162	6.3%	103.5%
DIY用品	9,090	3.3%	8,230	3.2%	110.5%
海外	6,216	2.2%	7,702	3.0%	80.7%
その他商品	5,867	2.1%	4,796	1.9%	122.3%
テナント賃貸事業	7,872	2.8%	7,927	3.1%	99.3%
その他事業	2,508	0.9%	1,968	0.8%	127.4%
合計	276,939	100.0%	255,481	100.0%	108.4%

※「報告セグメント」については、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。

主な資産の状況

(単位：百万円)

	11年12月	11年6月	増減額
流動資産	163,594	134,515	29,079
現預金	49,226	35,031	14,195
商品	90,220	81,582	8,638
固定資産	216,545	206,785	9,760
建物等	58,738	58,056	682
土地	95,426	87,187	8,239
敷金保証金	32,974	33,303	▲329
資産合計	380,139	341,300	38,839

主な資産の状況

- ▶ 総資産：3,801億円**
 (前期末比388億円増)
 12月末という季節要因を含めた主な増加要因は、現預金142億円増に加え、販売好調に伴う棚卸資産86億円増、フィデック業績拡大に伴う買取債権30億円増、出店に伴う有形固定資産97億円増など。
- ▶ 現預金：492億円** (同142億円増)
 当期における設備投資予想額をデット調達(銀行借り入れ及び社債発行)したことに加え、好調な12月商戦で積み増し。
- ▶ 商品：902億円** (同86億円増)
 DQ及びMEGAとも好評な販売動向で進捗し、さらにお客さまニーズに適應したPB商品が充実してきたため。
- ▶ 固定資産：2,165億円** (同98億円増)
 新規出店8店、業態転換1店及び次期以降の出店物件の獲得により、有形固定資産97億円増、無形固定資産24億円増など。

主な負債・純資産の状況

(単位：百万円)

	11年12月	11年6月	増減額
流動負債	137,742	106,071	31,671
買掛金	56,892	42,430	14,462
短期負債 ^{※1}	54,855	39,631	15,224
固定負債	105,219	109,987	▲4,768
社債等 ^{※2}	52,855	58,379	▲5,524
長期借入金	40,023	35,570	4,453
負債合計	242,961	216,058	26,903
純資産合計	137,178	125,242	11,936
負債・純資産合計	380,139	341,300	38,839

主な負債・純資産の状況

- ▶ 負債合計：2,430億円
(同269億円増)
主な増加要因は、買掛金145億円増、有利子負債172億円増(短期性負債182億円増、長期性負債11億円減)など。
- ▶ 有利子負債：1,507億円
(同172億円増、依存率39.7%)
(うちフィデック147億円)
- ▶ 純負債：1,015億円(同30億円増)
- ▶ D/Eレシオ：109.9%(同3.2pt.増)
- ▶ 純資産：1,372億円
(同119億円増、自己資本比率35.5%)

※1 短期負債＝短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、1年内償還予定の社債、同転換社債

※2 社債等＝社債、転換社債

2Q累計セグメント情報 (事業別)

セグメント別営業利益は「リテール事業」は17.9%増の129億円と収益力と安定性が加速し、
「テナント賃貸事業」は22.1%増の34億円といずれも大幅増益を達成！！

当2Qセグメント概要

(単位：百万円)

	リテール事業	テナント賃貸事業	その他事業	計	調整	連結
外部売上高	266,559	7,872	2,508	276,939	—	276,939
内部取引等	2	1,688	1,054	2,744	▲2,744	—
計	266,561	9,560	3,562	276,683	▲2,744	276,939
営業利益	12,918	3,352	1,080	17,350	▲132	17,218

前2Qセグメント概要

(単位：百万円)

	リテール事業	テナント賃貸事業	その他事業	計	調整	連結
外部売上高	245,586	7,927	1,968	255,481	—	255,481
内部取引等	—	1,292	490	1,782	▲1,782	—
計	245,586	9,219	2,458	257,263	▲1,782	255,481
営業利益	10,960	2,746	395	14,101	92	14,193

※当期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、報告セグメントを「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。13
Don Quijote Co., Ltd. 2Q results of FY2012.

2Q累計セグメント情報 (法人別)

主力の「ドン・キホーテ」営業利益率は6.7%と高水準を達成！

「長崎屋」営業利益は前2Qの7.5倍の11億円、いよいよ「収穫期」に！

当2Q会社別概要

(単位：百万円)

	ドン・キホーテ	ドイツ	長崎屋	DQ USA ※	その他	消去/全社	連結
売上高	189,951	10,559	69,616	6,336	9,931	(9,454)	276,939
営業利益	12,675	323	1,131	289	1,546	1,254	17,218
総資産	320,119	22,790	65,310	9,000	88,254	(125,334)	380,139
純資産	121,482	17,702	32,374	8,249	21,407	(64,036)	137,178

前2Q会社別概要

(単位：百万円)

	ドン・キホーテ	ドイツ	長崎屋	DQ USA ※	その他	消去/全社	連結
売上高	177,938	9,542	59,601	7,840	8,860	(8,300)	255,481
営業利益	11,409	529	151	344	1,514	246	14,193
総資産	299,013	23,147	57,491	9,616	37,670	(93,981)	332,956
純資産	114,230	17,597	28,452	8,638	1,684	(49,609)	120,992

※ 当期為替レート (PL : 1USD=¥79.26 BS : 1USD=¥76.74) 前期為替レート (PL : 1USD=¥88.32 BS : 1USD=¥84.53)
Don Quijote Co., Ltd. 2Q results of FY2012.

キャッシュフロー&設備投資の状況

(単位：百万円)

	当2Q	前2Q	増減額
1.キャッシュフローの状況			
期首残高	26,875	38,911	▲12,036
営業活動CF	18,365	16,390	1,975
投資活動CF	▲30,216	▲13,293	▲16,923
財務活動CF	13,451	7,345	6,106
期中増減等	4,939	9,871	▲4,932
期末残高	31,814	48,782	▲16,968

2.設備投資の状況

設備投資額	10,222	15,380	▲5,158
キャッシュフロー [※]	15,641	12,857	2,784
差引	5,419	▲2,523	7,942

※キャッシュフロー＝純利益＋減価償却費＋特別損失－配当金

キャッシュフロー

<営業CF>

税金等調整前純利益180億円に減価償却費49億円及び支払債務140億円が増加要因となる一方で、たな卸資産の増加112億円、売上債権の増加47億円及び税金支払額43億円などが減少要因となったことなどから、184億円の収入

<投資CF>

定期預金の預入増加111億円、有形固定資産の取得93億円の方で、デリバティブ決済支出33億円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得64億円などにより、302億円の支出

<財務CF>

銀行調達及び社債発行による純増額173億円の方で、配当金支払額14億円及び更生担保権の返済26億円などにより、135億円の収入

設備投資

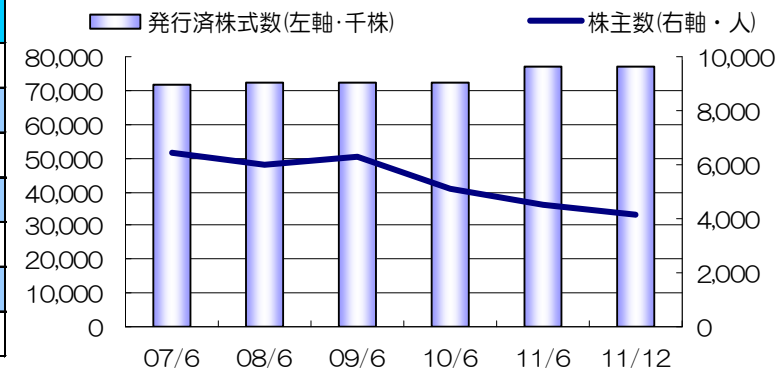
▶当期に係る新規出店や業態転換及び改装を進め、併せて次期以降の出店予定物件を獲得したことなどにより、102億円（DQ66億円、長崎屋11億円など：敷金保証金回収などを考慮した純増加額は97億円）の支出となるが、キャッシュフロー（156億円獲得）の範囲内。

株式の状況

所有者別構成比推移

(単位：千株)

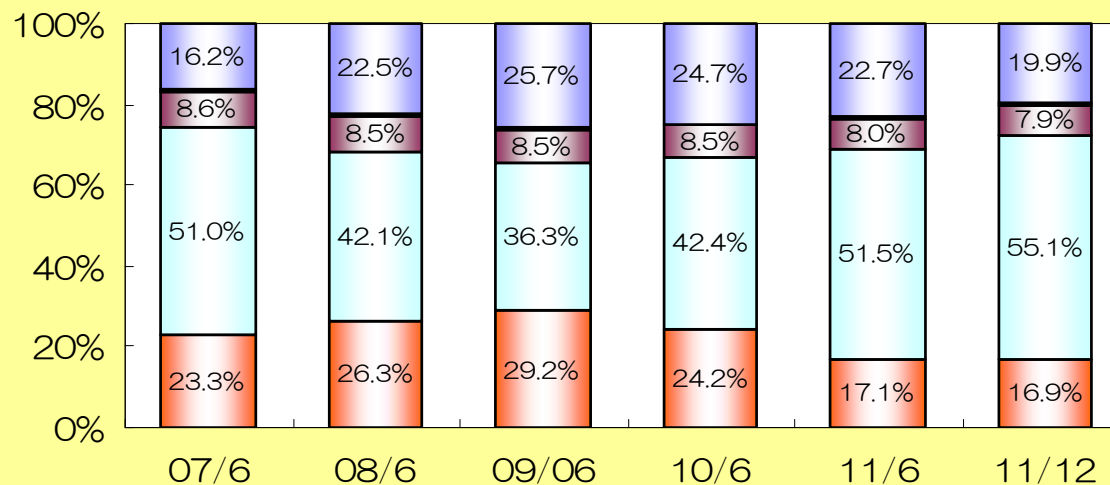
		前々期末		前期末		当2Q	
期末株主数		5,114人		4,542人		4,122人	
発行済株式数合計		72,095	100.0%	77,031	100.0%	77,078	100.0%
所有者別	金融機関	17,792	24.7%	17,505	22.7%	15,331	19.9%
	金融商品取引業者	136	0.2%	556	0.7%	158	0.2%
	その他の法人	6,105	8.5%	6,122	8.0%	6,107	7.9%
	外国人	30,594	42.4%	39,673	51.5%	42,472	55.1%
	個人その他	17,468	24.2%	13,175	17.1%	13,010	16.9%



- (注) 1. 当中間期末株主数は、4,122人(前期末比420人減、前中間期末比732人減)となっております。
 2. 外国人持株比率は55.1%となっております。
 3. 自己株式(1,244株)は、個人その他に含んでおります。

所有者別持株構成比推移

- 金融機関
- 金融商品取引業者
(証券会社)
- その他の法人
- 外国人
- 個人その他



総株主数は4,122人。

外国人比率55.1%

2Q連結業績概況

【2011年10月1日～12月31日】

(単位：百万円)

	当2Q		前2Q		前期比
	金額	百分比	金額	百分比	
売上高	142,076	100.0%	130,766	100.0%	108.6%
売上総利益	36,973	26.0%	33,785	25.8%	109.4%
販管費	27,536	19.4%	26,473	20.2%	104.0%
給与手当	9,203	6.5%	8,710	6.7%	105.7%
地代家賃	4,443	3.1%	4,482	3.4%	99.1%
支払手数料	3,117	2.2%	3,174	2.4%	98.2%
減価償却費	2,305	1.6%	2,301	1.8%	100.1%
その他	8,468	6.0%	7,805	6.0%	108.5%
営業利益	9,437	6.6%	7,312	5.6%	129.1%
経常利益	9,046	6.4%	7,609	5.8%	118.9%
当期純利益	5,261	3.7%	4,464	3.4%	117.9%
1株当たり純利益	68.26円		59.25円		115.2%

2Q事業別業績概況

【2011年10月1日～12月31日】

(単位：百万円)

	当2Q		前2Q		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
リテール事業	136,934	96.4%	125,742	96.2%	108.9%
家電製品	15,339	10.8%	15,587	11.9%	98.4%
日用雑貨品	31,403	22.1%	28,139	21.5%	111.6%
食品	39,679	27.9%	35,705	27.3%	111.1%
時計・ファッション用品	32,902	23.2%	28,921	22.1%	113.8%
スポーツ・レジャー用品	7,310	5.1%	7,181	5.5%	101.8%
DIY用品	4,397	3.1%	3,958	3.0%	111.1%
海外	3,077	2.2%	3,781	2.9%	81.4%
その他商品	2,827	2.0%	2,470	1.9%	114.5%
テナント賃貸事業	3,896	2.7%	3,961	3.0%	98.4%
その他事業	1,246	0.9%	1,063	0.8%	117.3%
合計	142,076	100.0%	130,766	100.0%	108.7%

※当期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「同 運用指針」を適用し、報告セグメントを「リテール事業」と「テナント賃貸事業」としております。なお、前期実績は当期基準に置き替えたものであります。

2Q出店状況

フォーマット別店舗数

	2010年 6月末	2011年 6月末	2012年6月期	
			1Q	2Q
ドン・キホーテ	149	150	150	154
パウ	※1			
ピカソ	11※2	10	12	12
MEGA	27※3	43	44	46
海外(ハワイ)	4	3	3	3
ドイト	12	16	15	15
長崎屋	17	6	5	5
その他	—	—	—	—

法人別店舗数

ドン・キホーテ	167	169	171	177
長崎屋	37	40	40	40
ドイト	12	16	15	15
DQUSA	4	3	3	3
その他	—	—	—	—
合計	220	228	229	235

※1. 店舗業態コンセプトが共通の「ドン・キホーテ」及び「パウ」は、「ドン・キホーテ」に集約表記しております。

※2. 「ピカソ」は「エッセンス」を含んでおります。

※3. ㈱長崎屋が運営する業態転換店は、すべて「MEGA」に含まれております。

※4. 上記の他に、大震災の影響により1店舗を閉鎖しております。



当期ハイライト

既存店における堅実な成長を基に、商圈内シェアと収益力を拡大！！

当2Qの新規出店はDQ5店、MEGA2店、エッセンス1店の計8店。

さらに長崎屋からの業態転換1店実施によりMEGA46店体制に。

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	
D Q	高田馬場駅前 川口駅前	中洲 上田 広島宇品 豊田 長岡インター 町屋	赤坂 鹿児島 前橋 小松	[] [] [] [] [] [] [] [] []	
長崎屋	八王子駅前	既存「MEGA」店を適時改装（15～16店予定）			
ドイト					

新業態エッセンス
開店

コミットメント
ライン設定

SB80億円
発行

鹿児島県
初出店

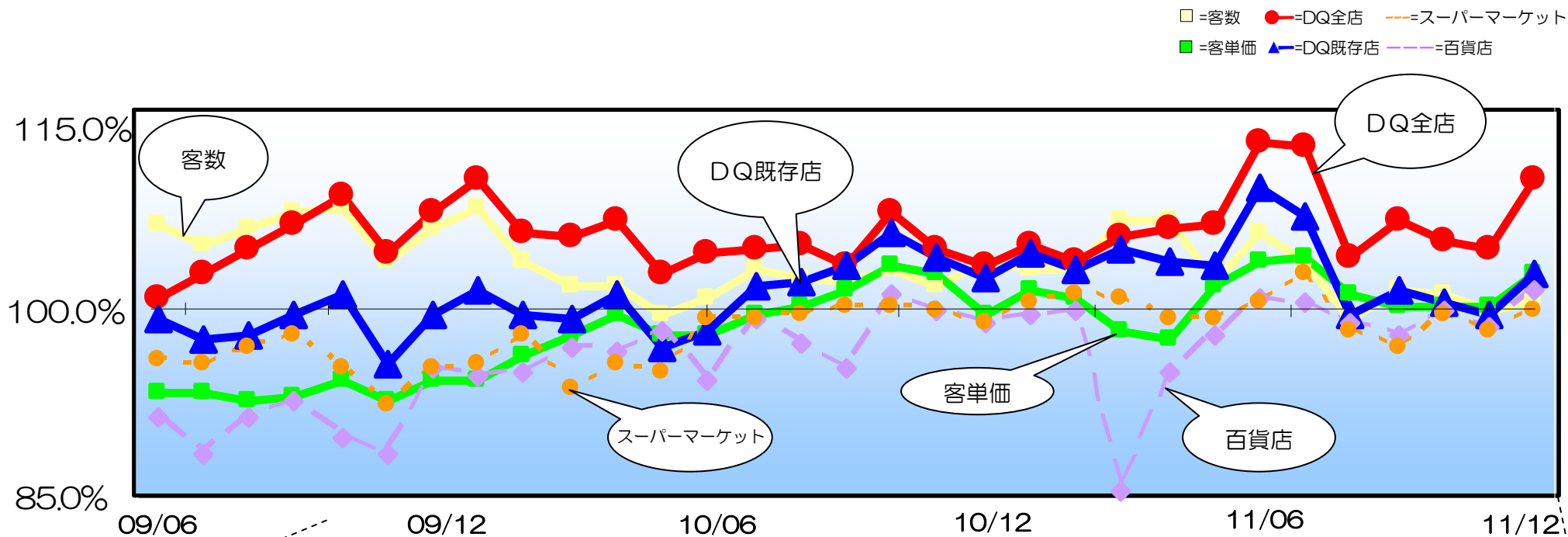
[Blue Box] = 新店

[Orange Box] = MEGA

[Pink Box] = ドイト

[Purple Box] = essence

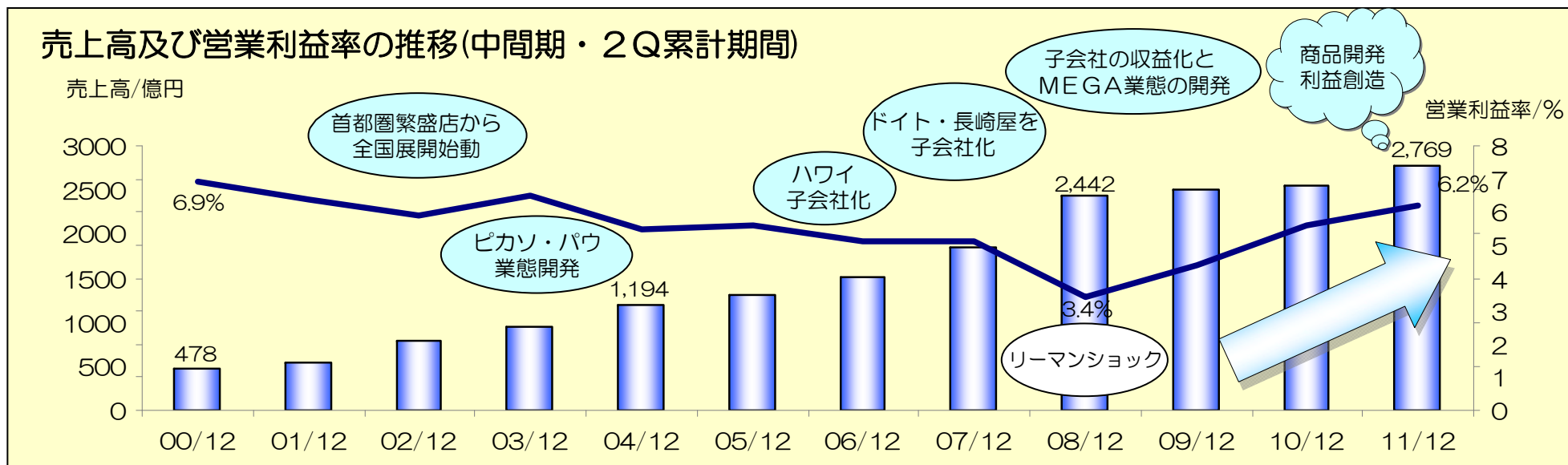
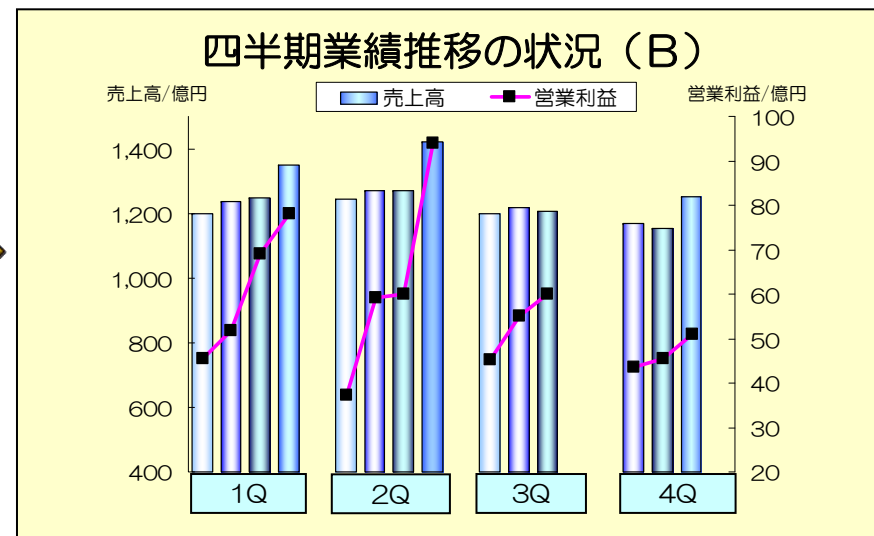
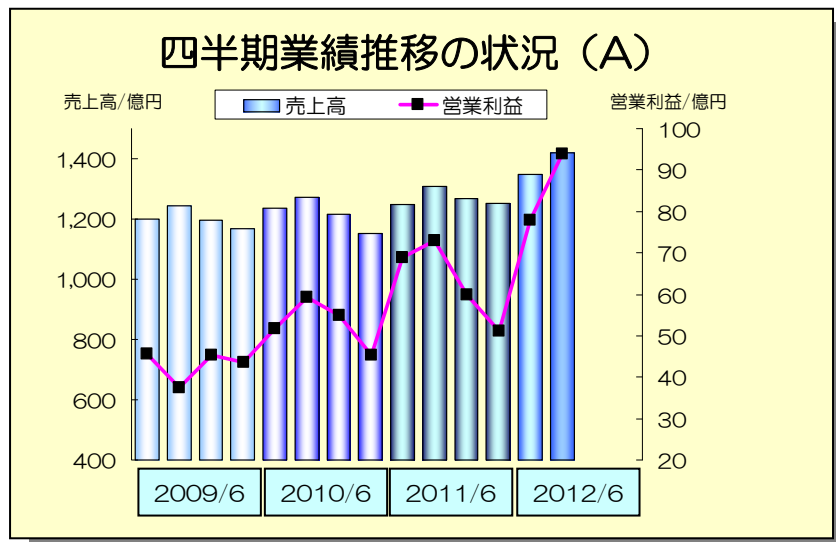
月次販売高の状況 (DQ)



既存店	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	105.4%	103.5%	102.0%	103.7%	102.6%	104.2%	103.3%	103.0%	108.8%	106.7%	99.2%	100.8%	100.1%	98.9%	102.3%
・客数	102.4%	101.3%	103.1%	102.6%	102.4%	106.5%	106.4%	101.7%	105.4%	103.1%	98.7%	100.9%	100.5%	99.4%	100.0%
・客単価	103.0%	102.1%	99.0%	101.1%	100.2%	97.9%	97.1%	101.2%	103.2%	103.5%	100.6%	99.8%	99.7%	99.6%	102.3%
対象店舗数	153店	153店	155店	155店	155店	156店	156店	157店	158店	158店	160店	160店	160店	161店	163店

お客様の消費心理に適応した生活必需品需要をとらえながら、徐々に嗜好性商品を拡販。
DQ既存店伸長率は1.5%増（客数0.4%増、客単価1.0%増）と予想を上回り安定した伸びを示す

四半期業績推移



長崎屋復活計画 Ver.5

出店地域のお客さまの支持率は着実に向上し、収益性・効率性が改善。
「MEGAドン・キホーテ」の営業力は、本日も進化中！！
引き続き、12兆円を超える市場内シェアの拡大にまい進してまいります。

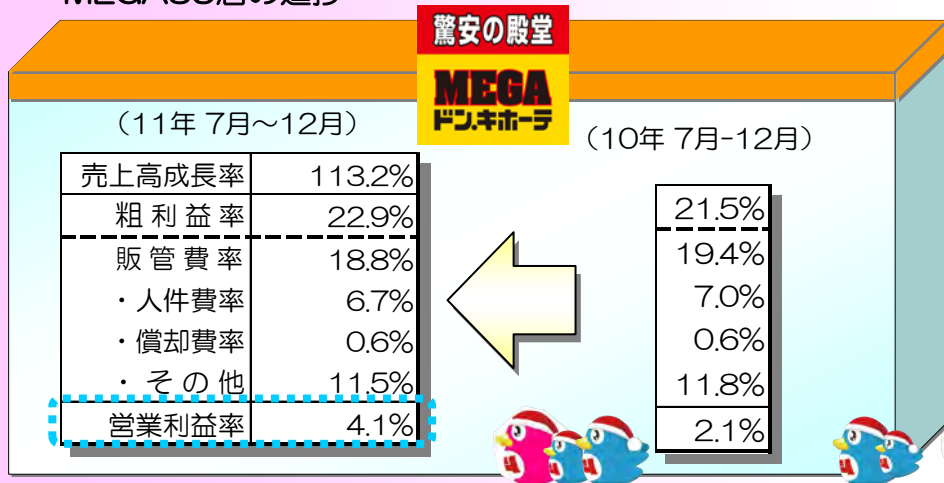
店舗数の推移

	2008/4	2009/4	2010/4	2011/4
営業店舗数	56	48	42	40
GMS長崎屋	56	35	20	6
MEGA/DQ	0	13	22	34
閉鎖	0	8	14	16

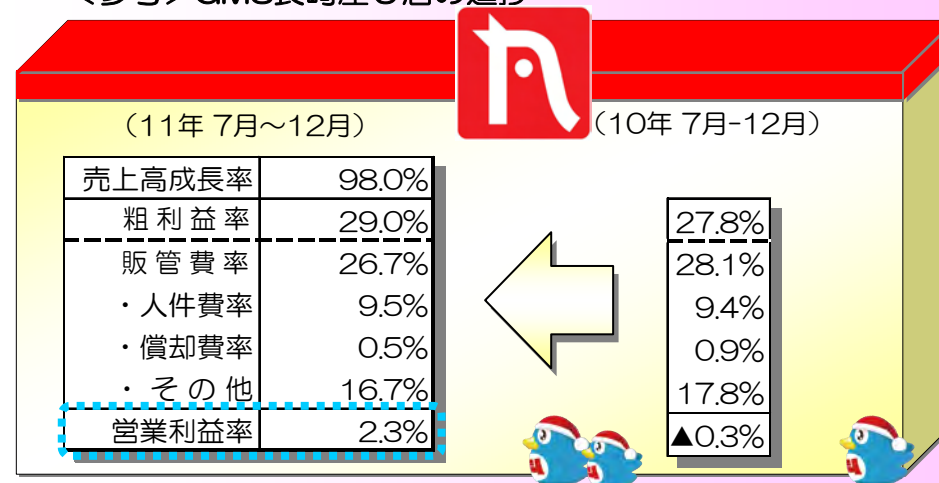
<参考>

2011/12	売上構成比
40	100.0%
5	4.5%
35	95.5%
16	—

MEGA35店の進捗



<参考>GMS長崎屋5店の進捗



- (注) 1. 「MEGA/DQ」「GMS長崎屋」とも、対象期間内のフル稼働月の営業損益推移を表しております。
2. 改装等に伴う休業期間月及び本社費用は含まれていないため、株式会社長崎屋合計とは一致しません。

New MEGA始動



その他

スポーツ・レジャー

(注) 商品構成比は、当2Qにおける実績を表しております。

Don Quijote Co., Ltd. 2Q results of FY2012.

広島宇品店



豊田本店



新規エリアで知名度低く、
開店月を含みながらも
すでに営業黒字でスタート!



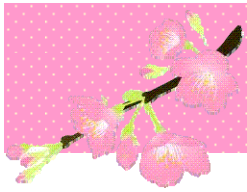
粗利益率	20.4%
販管费率	16.0%
・人件费率	5.9%
・償却费率	3.3%
・その他	6.8%
営業利益率	4.4%

神戸本店



宇治店





情熱価格まつり

1・2月の新商品



ビューティースチーマーNano

2.1chスピーカー



UVネイルライト

Vフィットローラー
(V字ケルマニウムローラー)

イルミネーション
アロマディフューザー



大人のさつまいもチップス

冷凍讃岐うどん
180g×6個

魚介類の甘味を
生かした
国産旨辛キムチ
300g

アイラッシュエッセンス
(ナチュラル・コラーゲンタイプ)

ハローキティ
ポンプボトル



スリムワンタッチマグ300
レッド・ブロンズ



携帯ホルダー
ブラックメッキ



メンズストレッチDRY
9分袖Tシャツ
(Vネック、クルーネック)



ポケットコイル
カウチソファⅡ



アクアブレード
(電気シェーバー)



店舗開発 & 商品開発



情熱
価格



当期の施策と個別業績予想

お客さま満足の最大化を追求しながら、継続的な成長と安定を目指す！

1. グループ：事業効率のさらなる改善を進め、お客さま支持率の高い店舗運営を促進
2. 営業方針：業態創造と変化対応
既存店活性化策を推進し、商圈内競争力をますます強化
お客さま層拡大に対応した、サービスレベルの改善と向上
3. 商品戦略：商品開発力の強化（PB「情熱価格」ラインナップの拡充）
商品編集力を磨き上げ、消費マインドの変化を先取りした商品ポートフォリオの提案
生活必需品の品揃え強化と徹底したEDLPの推進
4. 店舗戦略：設備投資額予想：300億円（出店地域の拡大、MEGA店の収益力向上）
新規出店：19店±α、閉鎖4店（うち2店は移転統合・業態転換）
DQ既存店の予想：通期=0.0%増
5. 財務戦略：バランスシートの改善と資金効率の向上
内部留保を積み上げ、財務基盤を強固に
年間配当金予想28円（2Q末10円）

（単位：百万円）

<DQ個別業績予想>	修正予想			当初予想		前期実績	
	金額	百分比	前期比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	362,000	100.0%	104.5%	358,000	100.0%	346,559	100.0%
営業利益	21,400	5.9%	108.7%	20,200	5.6%	19,685	5.7%
経常利益	20,300	5.6%	104.0%	20,000	5.6%	19,525	5.6%
当期純利益	9,800	2.7%	108.2%	10,400	2.9%	9,060	2.6%
1株当たり純利益	127.19円	—	105.9%	135.00円	—	120.08円	—
1株当たり配当	28.00円	—	100.0%	28.00円	—	28.00円	—

通期の連結業績予想

(単位：百万円)



	通期修正予想			当初予想		前期実績	
	金額	百分比	前期比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	531,000	100.0%	104.6%	528,900	100.0%	507,661	100.0%
売上総利益	137,300	25.9%	106.4%	134,000	25.3%	129,074	25.4%
販管費	108,800	20.5%	104.9%	107,000	20.2%	103,738	20.4%
営業利益	28,500	5.4%	112.5%	27,000	5.1%	25,336	5.0%
経常利益	27,500	5.2%	109.4%	26,800	5.1%	25,138	5.0%
当期純利益	16,410	3.1%	129.6%	14,000	2.6%	12,663	2.5%
1株当たり純利益	212.97円	—	126.9%	181.75円	—	167.82円	—
設備投資額	30,000	—	79.2%	30,000	—	37,872	—
減価償却費	9,600	1.8%	102.3%	9,600	1.8%	9,385	1.8%

「顧客最優先主義」と「企業価値の拡大」を追求し、
引き続き増収増益決算を目指します。



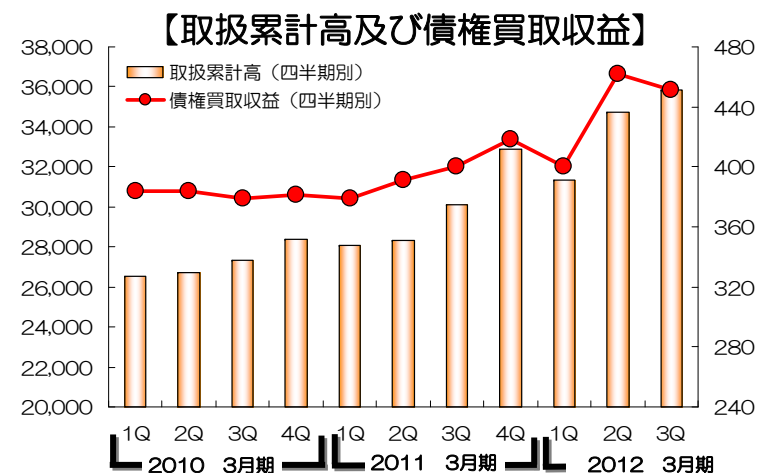
フィデック3Q決算業績

(単位：百万円)

【PL概況】	当3Q (11年 4月1日~12月31日)			前3Q (10年 4月1日~12月31日)	
	金額	百分比	前期比	金額	百分比
取扱累計高	101,894	—	117.8%	86,484	—
営業収益	1,940	100.0%	117.6%	1,649	100.0%
債権買取収益	1,312	67.7%	112.1%	1,170	71.0%
業務受託収益	627	32.3%	131.1%	478	28.9%
その他収益	0	0.0%	75.9%	1	0.0%
金融費用	238	12.2%	91.2%	261	15.8%
販売管理費	1,027	52.9%	99.4%	1,033	62.6%
営業利益	675	34.8%	190.0%	355	21.5%
経常利益	702	36.2%	181.1%	387	23.5%
当期純利益	646	33.3%	+2,959	▲2,312	▲14021.1%

(単位：百万円)

【BS概況】	当3Q末		前期末
	金額	増減	金額
総資産	19,673	2,752	16,921
負債	17,731	2,107	15,624
純資産	1,942	645	1,297



取扱累計高及び債権買取収益とも順調に増加しており、
本業注力による収益力は急拡大中！

本日はありがとうございました。



IRに関するお問い合わせ先

株式会社ドン・キホーテ 経営企画部

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-19-10

TEL：03-5725-7588 FAX：03-5725-7024

e-mail：ir@donki.co.jp

IRカレンダー

第32期（2012年6月期）第3四半期決算発表（予定）

決算発表日：2012年5月7日（月）

説明会会場：東京証券取引所内 東証ホール（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

将来見通しに関する注意事項

本資料におきましては、投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、お客さまご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

株式会社

ドン.キホーテ

Don Quijote Co.,Ltd.

